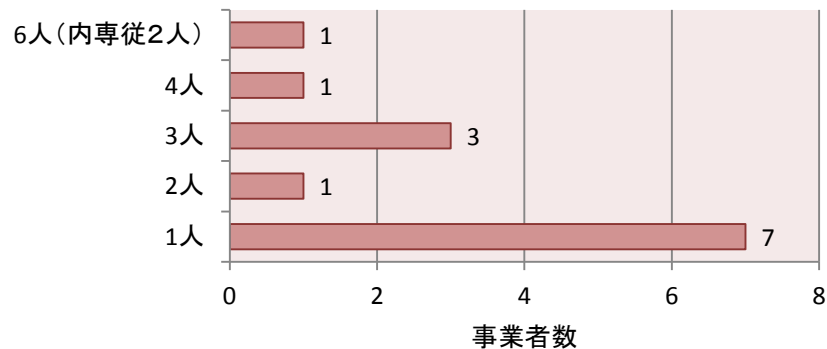


計画相談支援事業に関するアンケート(25年9月実施)集計結果

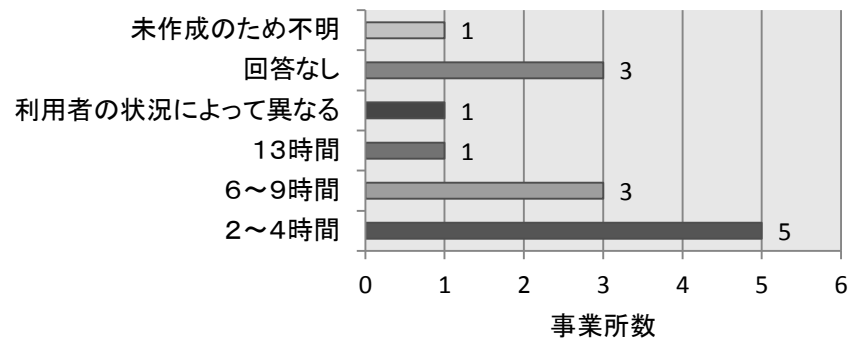
資料1

江戸川区福祉部障害者福祉課、健康部保健予防課

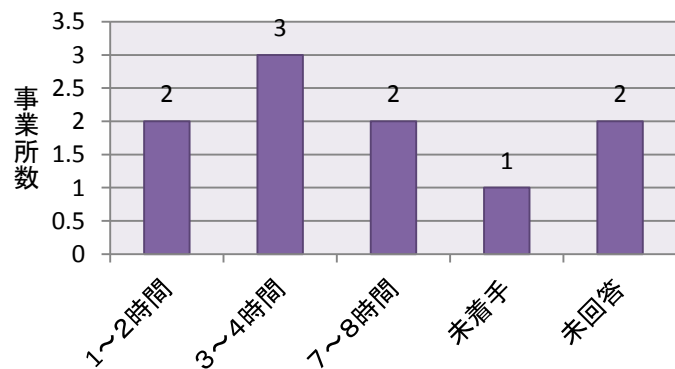
1 相談支援専門員の人数は何人ですか？(常勤非常勤問わず)



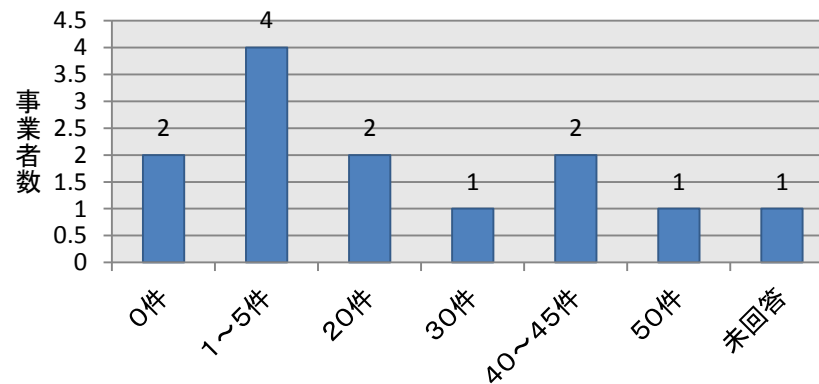
2 サービス等計画案作成一件にかかる平均時間は何時間ですか？



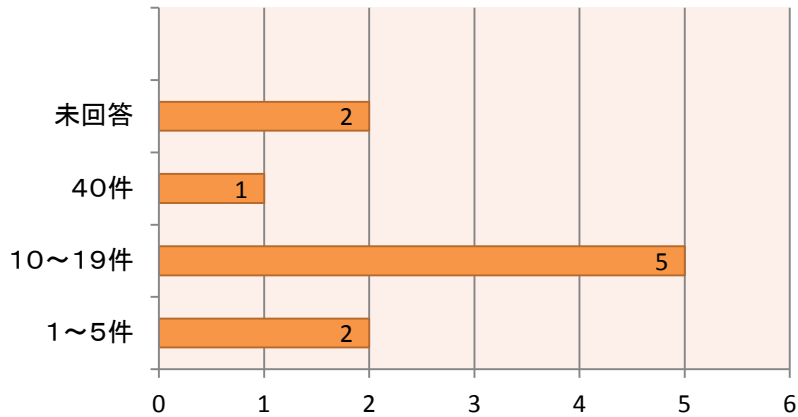
3 モニタリング報告書作成1件にかかる平均時間は何時間ですか？



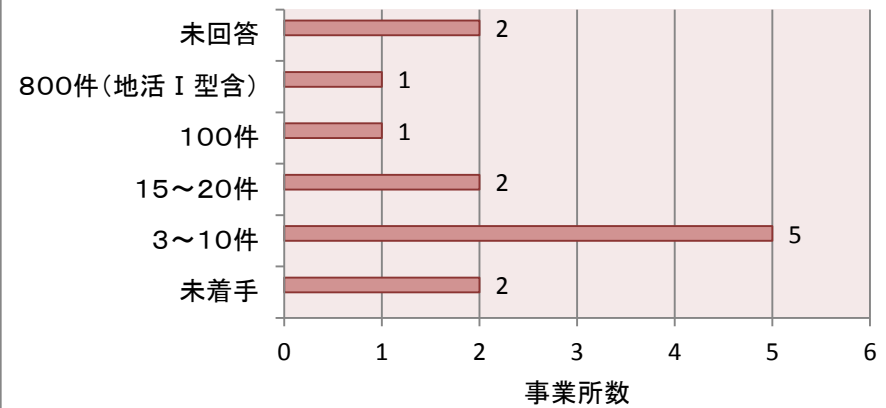
4 相談支援専門員が1か月に担当している件数は何人ですか？



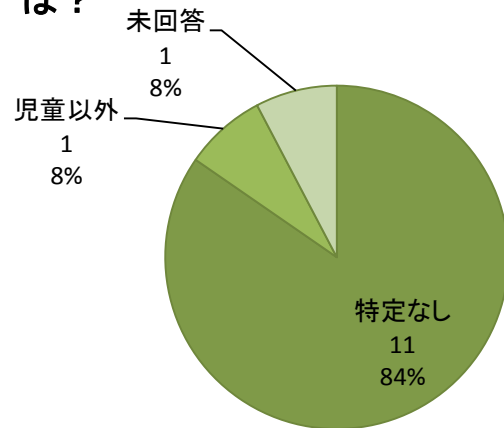
5 相談支援専門員一人が一月に担当可能な件数は何件くらいと考えますか？



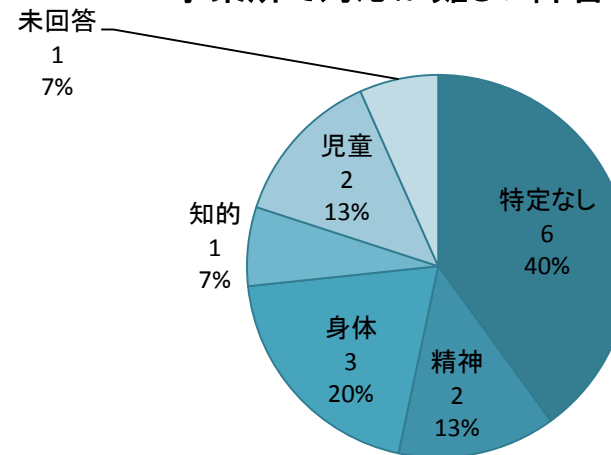
6 計画作成やモニタリング以外の一般相談件数は何件ですか？



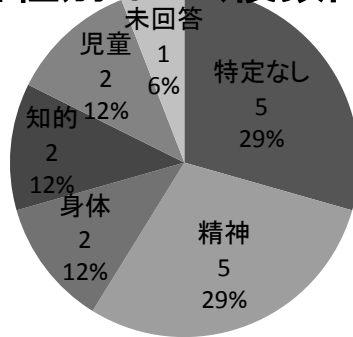
7 事業所が指定を受けている障害種別は？



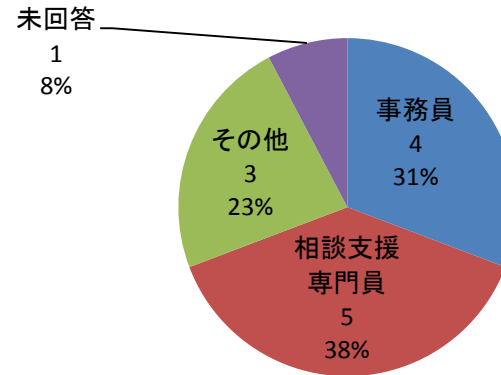
8 事業所で対応が難しい障害種別は？



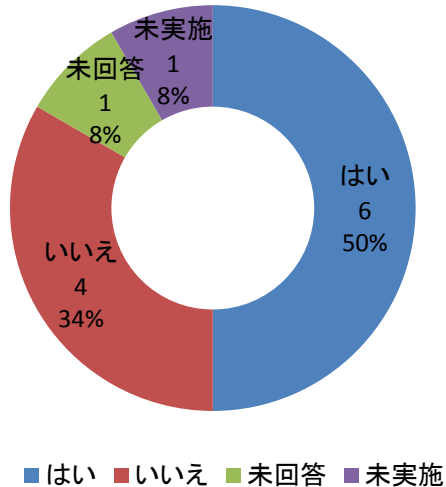
9 事業所で対応が得意とする障害種別は？(複数回答)



10 請求事務は誰が行っていますか？



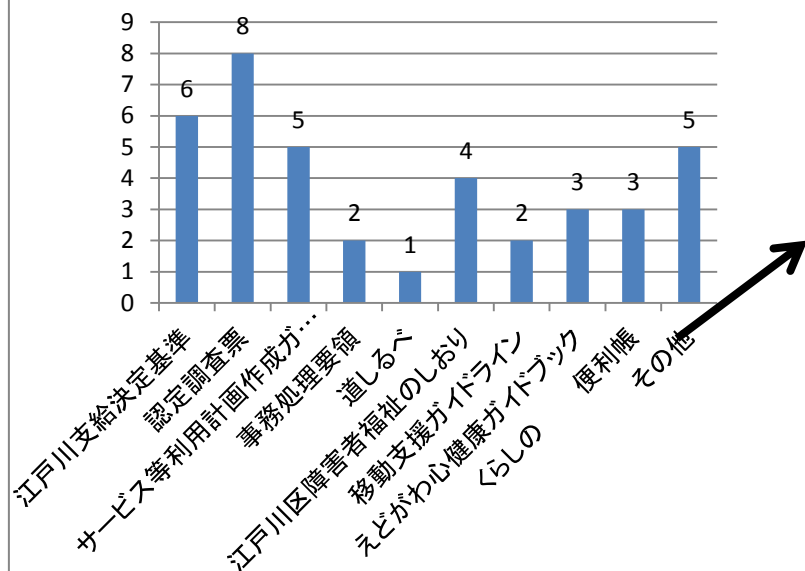
11 利用者に対して相談支援事業所を紹介するに当たり、現在は相談支援事業者リストを提示していますが、現行の方法でよいですか？



【改善策の具体案】

- ・江相連と相談してわかりやすいリスト付の資料を作成してほしい
- ・インターネット利用 ・ガイドブックがあると便利
- ・リストを提示するだけでなく、事前に空き状況を確認してほしい。窓口の提示方法を統一してほしい。
- ・エンパワメント支援を重視しているため、セルフプラン作成支援中心の事業所であることを明記してほしい
- ・エリアである程度分けて事業所リストを提示する
- ・事業所の状況を把握し、利用者が断られることも想定するなどした事業所選択支援が行われること。上記の支援ができるようなツールが用いられること

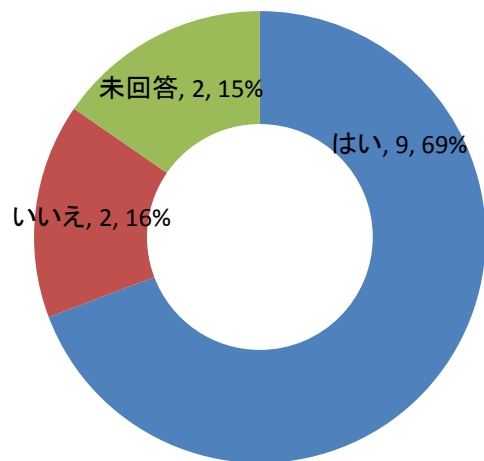
12 サービス等利用計画を立てる際に参考にしているものはありますか？（複数回答）



【その他】

- ・日本相談支援協会マニュアル
- ・各事業所のパンフレット
- ・インターネットによる必要な情報の収集
- ・各関係機関等からのフェイスシートやアセスメントシート
- ・江戸川区のHP
- ・東京都サービス情報HP

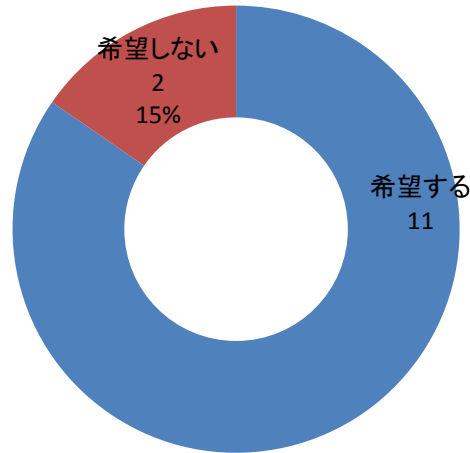
13 計画作成にあたり知りたい情報はありますか？



【知りたい情報】

- ・Dr情報、精神に対する社会資源
- ・GH、ヘルパー事業所
- ・施設入所者及び待機者の今後の意向調査、GH・CHの数、場所、種類等、住宅（不動産屋）情報
- ・知的・身体・精神・各分野のサービスについてまとめた一覧や詳細な情報
- ・主治医意見書の病名・経過・病状・障害状況等、調査票、特記事項（特に）
- ・サービスの種類や事業所の情報
- ・応じられずお断りすることになったケースがどうフォローされているか、同じくマネジメントの役割が期待される保健師や参加福祉司との役割分担、計画の内容はどう区に評価されているか

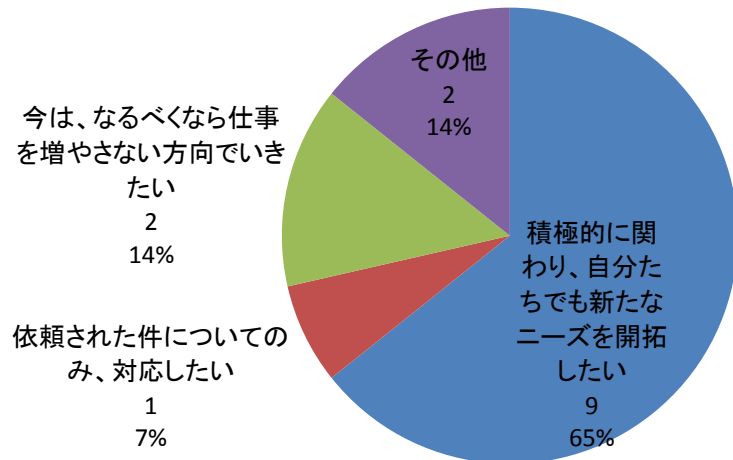
14 計画相談支援事業等の研修会や説明会の開催を希望しますか？



【研修会・説明会希望内容】

- ・江相連と連携をとる形で定期的な研修を希望
- ・認定方法、サービスに結びつけるまでの過程事例、サービスを使う効果、精神ホームヘルプ研修
- ・サービス提供事業所との連携強化など
- ・社会資源の紹介(ヘルパー事業所など)
- ・全般的
- ・既に制度を利用している方へのインフォメーションと説明会
- ・サービスに関する勉強会や個別支援(コーディネート)スキルアップ研修など
- ・帳票の具体的な作成方法

15 相談支援事業にどのように関わっていきたいですか？



【具体的な関わり方の内容】

- ・これ以上持つと細やかな支援ができない
- ・サービス等利用計画については、総合支援の3年間の見直し規定における支給決定のあり方等の同行を見てからにしたい(まだまだ制度変更を多々あり得ると思われるため)
- ・有償サービスを提供しているが、団体の運営が厳しい状況の中、いつまで時/1201でやっていけるか。また、このようなサービスが江戸川区では自主運営になっているので、行先不安。例:精神手帳がおりるまでグレーゾーン支援、いわゆるゴミ屋敷の片づけ

その他(自由意見)

- ・相談支援について特定相談ばかりが先行して進んで基盤となる基本相談と、始まったばかりの一般相談についての話ができない。既に、特定相談支援事業所も財政的に厳しくなっているところがある。江戸川区全体で相談支援をどう育てていくかを話し合っていきたい。よろしくお願いします。
- ・相談支援はエンパワメント支援の充実とワンセットで進めたい。そのため、当方の方針としては、サービス等利用計画の作成は、セルフプラン作成を基本とし、セルフプランの作成支援に重きを置いた支援となります。
- ・新規の場合、受給者証が発行された後、区分やモニタリング等を電話にて確認しているが、人数が増えると伝達ミスが発生することも考えられる。紙ベースで必要情報を知らせてほしい。また、手続き中に入院された場合、退院し受給者証が発行されるまで、一切できない状況。その点を配慮してほしい。関わり始めから支給量決定受給者証発行まで2か月かかることあり、その間の支援については、対価として評価されない実態がある。無償では厳しすぎるので検討してほしい。
- ・利用者側が計画相談の意義や必要性を理解されていないことが多く説明に時間がかかる。
- ・区だけの課題とは捉えていないが基本相談が担保されるため方策を検討してほしい。相談支援は必ず行き詰るが、それは地域のニーズが掘り起こされたということに近い。もしくは等しい。自立支援協議会に相談支援事業所の立場の人が参加するなど、このニーズの持っていきたいところを作ってほしい。
- ・4月よりはじめてるが、1件もない。様子を見ている。